

## 授業展開案 高等学校国語「国語総合」

## 1 テーマ

『枕草子』

## 2 ICT利活用のねらい

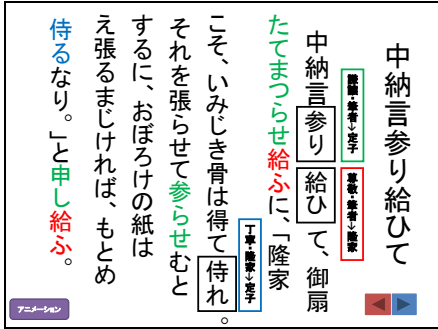

『枕草子』第九十八段「中納言参り給ひて」を教材とした。前半は尊敬語・謙譲語・丁寧語の3種類の敬語を簡単に確認できるように色分けして表示し、後半ではパワーポイントを活用して登場人物のやり取りの面白さを味わうことで、敬語学習入門期の生徒が作品を楽しみながら古典文法を理解することができるようにした。

## 3 利活用するICT機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板

②教材：「枕草子」(Microsoft PowerPoint)

## 4 ICT利活用の場面

学習内容	ICT利活用の場面
<p>本文の中の代表的な敬語について、敬語の種類と敬意の方向を確認する。</p> <p>清少納言の言葉が示すことと、結びの部分における彼女の心情を捉える。</p>	<p>①繰り返し演習：本文を4つに分け、各部分において四角の枠で囲まれた敬語について確認する。</p>  <p>②説明の補助：清少納言の言葉や心情が書かれた部分を表示する。</p> 

## 5 ICT利活用のポイント

### ①繰り返し演習

敬語の種類と敬意の方向を確認する学習において活用する。敬語学習の入門時期を想定しているため、「尊敬」「謙譲」

「丁寧」の3つの種類ごとに、「赤」「緑」「青」とそれぞれ色を変え、生徒の理解を助けるようにした。

☆敬語を確認するにはここをクリック →

### ②説明の補助

敬語の知識を身に付けるとともに、本文の内容を把握することができるように、本文中の「さては、扇のにはあらで、海月のななり」と、「いかがはせむ」の2か所に注目させ、作者である清少納言の心情や、人となりを考えさせる。